

教育改革推進10校指定

県教委 高校で国際化など対応

県教育委員会は3日、先進的な教育プロジェクトに取り組み県立高校10校を、教育改革重点推進校に指定した。

指定を受けたのは、岐阜、岐山、県岐阜商業、揖斐、大垣工業、関、東濃、恵那農業、高山工業、華陽フロンティアの10校。

県では▽地域社会や国際社会におけるリーダーの育成▽キャリア

教育の推進▽コミュニケーション能力を育成する事業を行う高校を、推進校に指定。今後3年ほどの実践期間を経て、事業成果の普及を図る。当初予算額は3千万円。

このうち、大垣工業では、国際社会で活躍できる工業技術者を育成するため、海外インターシップを実施。地元企業の海外工場や事業所を訪問し、現地

の生産現場で体験学習を行う予定。高山工業は、高山市にサテライトキャンパスを開設。生徒が地元企業と連携して開発した製品や伝統工芸品を販売するとしている。

県教委は「各推進校の取り組みを、第2次教育ビジョンや今後の高校教育改革に生かしていきたい」としている。

(森川みどり)

- ・この新聞記事掲載は岐阜新聞から転載を許可されたものです。
- ・このページ記載の新聞記事の著作権は、岐阜新聞にあり二次使用は許可されていません。